

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>障がい児を乳幼児期に発見し早期に適切な療育を行うことで、「障がいの改善と発達全般の促進」が可能であることが実証されています。</p> <p>難聴児(出現率:出生1000人に1人)については、0歳で難聴を発見し、直ちに補聴器・人工内耳を装着して言語指導を受けることで、6歳までに年齢相応の言語力・会話力を習得し、小学校通常学級に就学できることが実証されています。</p> <p>現在、群馬県内では、産院での新生児聴覚スクリーニングと群馬大学附属病院小児難聴外来での医学的検査により、0歳での難聴発見が行われており、太田市地域でも難聴児の早期療育ができる言語聴覚士が必要になっていると思われます。</p>	<p>本市では、母子手帳発行時に新生児聴覚検査の必要性を全妊婦に説明し、新生児聴覚検査受診票を発行しております。また、乳児全数訪問時に受診状況を確認しております。乳幼児健診でも聞こえについて確認する問診項目があり、3歳児健診では、問診項目に加え保護者による自宅検査も実施しております。聞こえについて心配がある場合は、専門医へ誘導しております。</p> <p>ご意見としていただきました、言語聴覚士による難聴児の早期療育につきましては、関係機関や庁内関係部署と協議をし、必要性も含めて研究していきたいと考えております。(障がい福祉課、健康づくり課)</p>
2	<p>発達障がい児については、幼児期から適切な医療・療育・教育を受けることにより「問題行動の改善と適応能力の向上」が可能であり、その結果、能力特性に応じた分野で就労することは可能とされています。</p> <p>障がい児の早期発見・早期療育を効果的に実施するためには、療育担当者の療育技能の向上が不可欠であり、技能向上のための充実した内容の療育担当者研修(新任者・経験年数別・専門職種別・管理者)を毎年実施する必要があり、研修実施のために市から公費による助成が必要と思われる。</p>	<p>群馬県では、相談支援従事者やサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の養成及び資質向上を図る事を目的として「障害福祉従事者等研修事業」を開催しております。</p> <p>障害福祉サービスに係る療育担当者の研修助成については、財政資源や人的配置等の課題があり、本市単独で実施することは困難なため、国の動向等に注視して参ります。</p> <p>なお、本市では、発達障がい児及び発達障がいの疑いがある児と、その保護者に対する相談支援を実施しており、早期療育が必要と思われるケースがあれば、専門医の受診や療育施設をご案内しております。また、1歳6か月、2歳、3歳の健診にて、発達特性を早期に発見するための行動観察を実施しており、特性が疑われる場合は、心理士相談や専門機関への誘導等の支援を実施しております。(障がい福祉課、子育てそうだん課、健康づくり課)</p>
3	<p>太田市は人にやさしい行政の取組として「障害者」を「障がい者」とひらがなで表記しているのは大変よいことで、国・地方公共団体にも提案してみたいと思います。</p>	<p>本市では、平成17年度から市で使用する「障害者」などの「害」の字の表記について、ひらがなで表記しております。「しょうがい」の表記につきましては、国・各自治体・各機関によってさまざまな議論があるため、それぞれの意向を尊重して参りたいと思います。(障がい福祉課)</p>

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
4	<p>計画の基本方針で特に大切なのは、「障がい者が豊かに生活できるまちづくり」であると思います。その中で「バリアフリーのまちづくり」は、お金の掛かることですが優先順位を上げて取り組むべきではないでしょうか。駅は特に必要で、やってない駅が沢山あり早急にやるべきです。</p>	<p>本市では、障がいのある人にも利用しやすい交通環境の実現とともに、公共交通の利用率を高めるため、駅やバス停へのアクセス道路の改善整備や駐輪場等の設置等を進め、バリアフリーに配慮した交通施設とその周辺環境の形成を図って参ります。</p> <p>なお、駅の整備につきましては、東武鉄道整備促進期成同盟会より「駅舎や駅周辺の整備の推進」についての要望事項を鉄道事業者へ提出するなど本市といたしましてもご指摘のような取組の推進に努めております。（都市計画課、交通対策課）</p>
5	<p>障がい者から直接声を聴くことは最も大切なことですが、障害児相談支援の件数については、令和5年度の実績値が令和4年度より減っている。令和6～8年度見込みがより多くの実績値になるように努力すべき。</p>	<p>令和5年度の実績値につきましては、令和5年9月末時点の状況により算出しております。令和6年2月末時点での実績値は増加しており、令和4年度の実績値を超える予想となりました。障害児相談支援専門員の不足によるセルフプランの利用や、適切な療育により発達障がい児のサービス利用が不要となるケースもありますが、障がい児のサービス利用は増加しており、相談支援の利用者数も増加を見込んでおります。（障がい福祉課）</p>
6	<p>障がい者のアートが注目されています。アートの力で人の心を豊かにし、多様性を尊重する包括的な社会の実現への活用に取り入れる事を考えるべき。</p>	<p>群馬県では、障がいのある方の芸術文化活動の普及を支援するため「群馬県障害者芸術文化活動支援センター」を令和5年4月に開設されました。芸術文化活動に参加する機会の確保につながるよう、同センターのPRに努めて参ります。また、本市には太田市美術館・図書館があることから、障がいのある方のアートにつきましても取組を強化するよう協力依頼して参りたいと思います。（障がい福祉課）</p>
7	<p>家族が障がい者施設で過ごしておりますが、1人でも感染症に罹患すると全体に伝染してします。ワクチン接種（新型コロナウイルス、インフルエンザ）の補助金を群馬県や太田市から支援していただくと、本人やその家族が助かります。</p>	<p>本市では、インフルエンザの予防接種において、障がい者等へ下記のとおり助成を行っております。</p> <p>【対象者】身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、及び精神障害者保健福祉手帳1級所持の希望者</p> <p>【助成回数】1人1回（13歳未満は2回）</p> <p>【自己負担額】1,000円</p> <p>新型コロナウイルスの予防接種においては、今後の接種費用等が確定していないため、国の動向を注視して参りたいと思います。（健康づくり課）</p>